

「病院・老健の複合施設を建設します」

老朽化した熊本光洋台病院と介護老人保健施設光乃里を ZEB を導入した省エネルギー複合施設として、建て替え工事を開始しました。



- ・病院(52床)、老健(72床)の複合施設
- ・眺望豊かな現在地に整備

新施設建設(令和5年12月竣工予定)

新施設概要

- ・病院(52床)老健(72床)の複合施設
 - ・眺望豊かな現在地に整備
 - ・ZEBを導入した、省エネルギー施設
- 鉄骨構造【地下1階・地上4階】
延床面積 6,760.19㎡

各階の主な用途

- ・地上 1階 総合受付(病院・老健)、外来・検査・栄養・管理部門
- 2階 熊本光洋台病院 病棟 52床
- 3階 老健 光乃里 療養棟 36床
- 4階 老健 光乃里 療養棟 36床
- ・地下 機械室・洗濯室等



1F エントランス・ホール イメージ図



病室 イメージ図

ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)とは

ZEBの定義は国内外で様々な議論や検討がされています。経済産業省資源エネルギー庁「ZEBロードマップ検討委員会とりまとめ」(平成27年12月)では、ZEBを「先進的な建築設計によるエネルギー負荷の抑制やパッシブ技術の採用による自然エネルギーの積極的な活用、高効率な設備システムの導入等により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギー化を実現した上で、再生可能エネルギーを導入することにより、エネルギー自立度を極力高め、年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを旨とした建築物」と定義しています。現在、ZEBの実現・普及に向けて、4段階のZEBを定性的及び定量的に定義しています。